

1 内政

最近の停電頻発は送電線の老朽化が原因

ソロモン・ポンペイ電力公社社長は、最近頻発している停電の原因は送電線の老朽化に伴う、主として「Air Break Switch」の不具合によるものと述べた。また同社長は、USDAから2基のディーゼル発電機（545kw）が寄贈され、現在設置作業を行っていると述べた。

（4月23日付 カセリエプレス紙）

米ピース・コー撤退に伴う感謝祭の開催

4月の1ヶ月を通して、本年6月までの撤退が決定している米ピース・コーの50年以上に亘るこれまでの当地における活動に感謝するセレモニーがミクロネシア各地で盛大に実施された。

（4月23日付 カセリエプレス紙）

2 外交

米海軍駆逐艦のポンペイ立ち寄り

8日、米海軍駆逐艦マイケル・マーフィーがポンペイに立ち寄った。同艦は1月15日、ハワイ・パールハーバーを出発し、中西部大洋州地域に向かう途中にポンペイ港沖に停泊。停泊中、連邦政府やポンペイ州政府関係者、外交団等が艦内視察を行った。同艦は米沿岸警備隊が実施している海上保安や違法漁業の取り締まり活動等を支援する予定。

（4月23日付 カセリエプレス紙）

Li 当地中国大使が離任

11日、ポンペイにあるホテルでLi 中国大使の離任レセプションが開催された。レセプションにはジョージ副大統領（大統領代行）、シミナ連邦議会議長、閣僚、各国大使他の当国要人100人以上が出席した。FSM政府を代表して挨拶に立ったジョージ副大統領は、Li 大使は約3年に亘る当地での勤務中、FSMと中国との友好関係の強化やFSMの経済社会開発支援に尽力したと同大使の業績をたたえつつ、今後ともFSMと中国との様々な協力は継続されていく事を希望すると述べた。

（4月12日付 当地中国大使館HP）

第23回ミクロネシア島嶼国フォーラム（MIF）の開催

25日から27日にかけてサイパンにて第23回MIFが開催され、FSMからはクリスチャン大統領、FSM各州の知事等が参加した、会議では域内の保健・医療、気候変動、運輸/交通、犯罪対策における協力につき協議された。

（4月28日付 カセリエプレス紙）

中国訪問中のシミナ連邦議会議長、Li Zhanshu 中国指導者他と面会

24日、中国を訪問中のシミナ連邦議会議長はLi Zhanshu やWang Yang 中国指導者等と面会した。会談で同議長は1989年の国交樹立以来両国関係は大きく進展を遂げ、FSMは中国が推進する一つの中国政策や一帯一路政策を一貫して支持している旨言及し、今後とも議員交流を深めていきたいと述べた。

（4月24日付 カセリエプレス紙）

FSMが第138回IPUでアジア・パシフィック・グループの議長を務める

24日、FSMがスイスで開催された第138回 Inter Parliamentary Union (IPU) 総会のアジア・パシフィックグループの議長に選出され、シミナ連邦議会議長が議長を務めた。

3 経 済

ミクロネシア連邦石油公社が値上げを発表

ミクロネシア連邦石油公社は、3回予定する値上げのうち、3月20日から始まる2回目の値上げについて発表。この値上げは、30年間続いたグアムの港を経由する石油（液体）の免税措置を撤廃する法律が3月13日にグアム議会を通過したことによる。ミクロネシア連邦石油公社は燃料供給に係る協定を2013年以降締結していた。

（4月4日付 カセリエプレス紙）

米国とミクロネシア連邦がコンパクトの財政支援及び信託基金について年中間協議を実施

米国とミクロネシア連邦政府関係者が4月上旬、サンフランシスコで年中間協議を開催し、コンパクトに基づく財政支援と信託基金について議論した。両国代表団は、教育及び医療分野におけるコンパクトに基づく要求を満たすための努力の状況について話し合いを行った。信託基金に関する協議では、ミクロネシア連邦が2023年を迎えた時に、どのように円滑にコンパクトに基づく財政支援から自立に向けて移行できるようにすべきかについて話しあった。

(4月9日付 カセリエプレス紙)

S N A Pの日に沢山の魚がチューク州からグアムに輸入される

リーフフィッシュ (reef-fish) のチューク州-グアム間の取引データの調査によって、S N A P (Supplemental Nutrition Program) がチューク州からグアムへの魚製品の輸出を増大させていることが判った。S N A Pは収入の低い個人や家族に食料補助を行う制度で、グアム在住の1/3近くのミクロネシア人が同制度に加入しており、同制度を利用することによって、肉、魚及び野菜などの食べ物を入手することができる。この調査は2003年から2014年の商業漁業の傾向をカバーしており、航空輸送費や世界的な魚の需要が拡大したことにより2010年から2014年のグアムの魚製品の輸入量は減少していることを示しているが、一方でS N A Pが許可される日は沢山の魚製品がチューク州からグアムに輸入される傾向が示されている。全体的な魚製品のチューク州からグアムへの輸出が減少する中で、グアムはミクロネシア地域以外からの冷凍魚製品の購入源を探し出そうとしている。

(5月7日付 カセリエプレス紙)

4 経済協力

コロニア-中国友好センターの引渡式

13日、コロニア-中国友好センターの引渡式並びにリー中国大使の離任パーティが同センターで行われ、クリスチャン大統領、ヨシヲ・ジョージ副大統領、モセス連邦議会副議長、パーマン・連邦議員、ネス連邦議員、ロバート外務大臣、ピーターソン・ポンペイ州知事、ミゲル州議会院内総務、ニコラス・コロニア市長を含む400名が参加した。クリスチャン大統領やピーターソン州知事、ニコラス市長はスピーチで中国政府やリー大使への感謝の意を示し、今回建設されたジムはコロニア市民に裨益するものであり、中国とコロニアの友好の証となるだろうと述べた。これに対しリー中国大使は、中国とFSMは長年友好関係を築いており、今回のジムの建設によってコロニアの人々の健康が促進されることを願うと述べた。式典ではポンペイ州のパフォーマーが歌やダンスを披露した。(参考:本センターは中国大使館から20万米ドルの贈与と約8万5千米ドルの連邦議会からの予算によって完成。2017年6月に着工式が行われた。)

(4月13日付 当国中国大使館HP)

ADBが技術協力の第一回ワークショップをヤップ州で開催

3月21日、ヤップ州でADB大洋州局のウスイノリオ氏とコンサルタントのテッド・バレンタイン氏が公的部門の管理・運営についてのワークショップを行った。ヤップ州政府

の各局長らをはじめとした多くの州政府関係者が参加し、ディスカッション等を通じて3つのテーマ(①コンパクト終了を見据えた行政改革②現在抱えている行政問題への解決策③行政サービスの効率化)について学んだ。これは昨年ADBが首都パリキールで連邦政府向けにワークショップを行った時にヤップ州政府から要請したことがきっかけとなって始まった。ワークショップは10月の半ばまで定期的に行われる予定で、双方が合意すれば延長する事もできる。

(3月28日付 カセレリエ紙)

日本政府、道路整備機械をポンペイ州に贈与

24日、日本政府はマカダムローラーとアスファルトフィニッシャーをポンペイ州運輸・管理局に贈与した。スペアパーツを含めた今回の贈与金額は4,100万円。引渡式に出席した堀江大使は、今回贈与された道路整備機械がポンペイの人々の生活を向上させる事を願うと述べた。オリバー・ポンペイ州知事代行はまず初めに日本語で感謝の意を述べ、メンテナンスをしっかりと行って欲しいという堀江大使からの要望に対し、メンテナンスをしっかりと行うことを約束した。引渡式の前には3月の豪雨でダメージを受けた道路の舗装がこれら道路整備機械を使って行われていた。

(4月24日付 カセレリエ紙)

心臓専門医チームのポンペイ訪問

当地医師の要請により、3月12日～16日にかけてハワイから小児心臓医チームがポンペイ州を訪れた。今回の訪問はマヒインターナショナルとポンペイ・エコ・ラボの協賛によって実現した。主目的は先日ロータリークラブにより寄贈された心電図機械の使い方を医療機械操作士に教えることであった。チームは滞在中、心疾患の疑いのある患者の診断を行ったり、学校を訪問し約800人の子供たちの心電図を取ったりした。その結果、約30人にリウマチ性心臓病の疑いがあることが分かった。

5 文化・教育

(5月7日付 カセレリエ紙)

ミクロネシア短期大学ファンドレイジングディナーを開催

4月第1週、ミクロネシア短期大学の25周年記念イベントが各州で行われた。パレードやダンス、映画、スポーツイベント、ヘーゼル神父によるセミナー等が行われ、最終日にはナショナルキャンパスでファンドレイジングディナーが行われ、目標額の50万米ドルに対して76万米ドルが集まった。

(4月5日付 カセレリエ紙)

New Tokyo Medical College の学生、中国医学大学に留学

9日、ポンペイにある New Tokyo Medical College の学生 June Joy laibeyal は同カレッジによる奨学金により中国北西部にある医学学校（QMU）で6年間に亘るトレーニングプログラムに参加することとなった。研修終了後は医学学校より学位を授与される予定。

（4月9日付 カセリエプレス紙）

新ラジオ・プログラムの開始

ポンペイ州歴史保護局はN G OのPacifica ルネッサンス（代表長岡拓也氏）と協力して、25日から新番組（Nahlikend En Leng）の放送を開始することになった。番組ではポンペイの先人達を作ってきた伝説や歴史的な偉業を紹介することとしており、特に若年層がポンペイの歴史を知るよい機会になることが期待されている。

（4月24日付 カセリエプレス紙）

ポンペイ州立図書館が「Read , Know, Grow」週間を実施

ポンペイ州立図書館は創立33周年を記念してIOMの協力を得て、23日から27日まで「Read, Know, Grow」週間を実施する予定で、その一環としてオーミネ小学校グループによる気候変動に関するプレゼンを行う。

（4月24日付 カセリエプレス紙）